

## 平成 22 年度事業実施状況について

3 月 19 日に開催することとしていた第 45 回原状回復対策協議会は、震災の影響により開催できませんでしたが、平成 22 年度事業実施状況についてお知らせします。

### 1. 廃棄物掘削・搬出について

今年度の目標 48,000 t に対して 52,987 t (速報値) を処分し、総量 324,320 t のうち 280,692 t (86.5% 速報値) の処分を終了しました。また、かねてから懸案の原因者設置建屋下の廃棄物の有無について、2 月にボーリング調査 (深さ 10m) を 6 箇所で行ったところ、廃棄物は確認されませんでした。

### 2. 汚染土壌対策について

#### 1) N 地区の状況について

これまで高濃度の汚染が残っていた県境の 3 区画を含め、浄化対象 87 区画中 67 区画 (77%) で地下水が環境基準値以下となりました。前回報告 (10 月) に比べ汚染区画が 13 区画減り、残り 20 区画になるとともに汚染濃度が低下しており、汚染物質の 99.7% を分解・除去できたものと推定しております。汚染濃度は低減傾向にあり、平成 24 年度中にすべての物質が環境基準値以下となる見込みですが、確実に低減化が進むよう、汚染の残留している一部区画に栄養剤を注入しています。

#### 2) N 地区以外の 7 地区

昨年 12 月以降、詳細調査及び詳細設計を実施しており、詳細な汚染状況を明らかにしたうえで、平成 23 年 5 月を目途に詳細設計 (浄化計画) を取りまとめ、並行して現場での施工準備を進めることとしています。

### 3. 環境モニタリングについて

#### 1) 大気関係

場内 4 地点及び周辺 2 地点で年 4 回測定を実施したところ、場内 1 地点でベンゼンが基準を若干超過しましたが、場外では基準を満足していました。

#### 2) 水質関係

全体として、場内の有害物質の濃度は低減傾向にあります。ただし、水銀等の一部項目については突発的に基準を超過して検出されることがあり、また、1,4-ジ 林ツが多量の箇所で見出されていましたが、今後、廃棄物撤去及び汚染土壌対策の実施により低減されるものと考えています。

#### 3) 騒音・振動関係

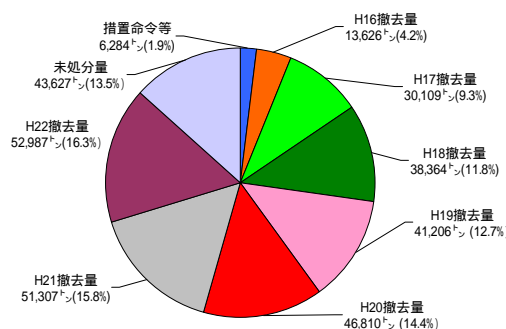
廃棄物の運搬経路 4 地点において測定を実施したところ、全ての地点で騒音、振動の要請基準をクリアしました。

## 廃棄物の撤去状況について (平成 23 年 3 月末現在)

表: 22 年度の月別撤去量

	撤去量 (トン)
22年4～9月	25,715
22年10月	5,634
22年11月	6,025
22年12月	5,614
23年1月	2,996
23年2月	5,526
23年3月	1,477
合計	52,987

平成 22 年度撤去目標 48,000 トン



3 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、280,692 トン (86.5%) を撤去しました。

撤去状況の数字は、小数点以下の端数処理をしているので、合計値が合わない場合があります。